



株式会社東部がお届けするインフォメーション・レター

NEWS

THE TETSUJIN NEWS

発行所 株式会社東部鉄人ニュース事務局
神奈川県相模原市緑区下九沢 1509-4
TEL.042-764-4128
FAX.042-762-9593
編集 鈴木 航
https://www.tobu21.co.jp

Vol.181
2025
9月号

つねに時代の先へ新技術と新発想でお応えいたします!

e-pile next

現場技術者による現地での施工シミュレーションが決め手となりました

化学品工場 配管ラック基礎工事

本件は、化学品工場配管ラック基礎工事です。
ご相談当初から、工場内の既存建屋や既存配管等の空きスペースへ配管ラック基礎を新設する計画のため、限られたスペースでの近接施工にどうお応えできるかが課題となりました。
弊社工事部の現場技術者を交えて現地確認・施工シミュレーションを行い、該当施工敷地有効幅2.3mのところ、施工機DHJ-08(幅1.9m)を選定し、前後移動しながらの打設は可能と判断しました。但し、杭種や打設位置が限られてしまうことで、偏心や打ち止め深度等の検討が改めて必要になり、施工図を作成して打設位置を示して設計者様と綿密に検討を重ね、設計内容、施工条件などの提案に加え、本工場内での施工実績も含め、e-pile next工法をご採用いただきました。
実施工に於いても既存建屋、設備などに支障がないよう安全作業に注力しながら、確実に設計深度まで貫入し無事完工いたしました。
元請様には搬入誘導や安全対策等のご協力をいただき安全且つ無事に完工する事ができました。

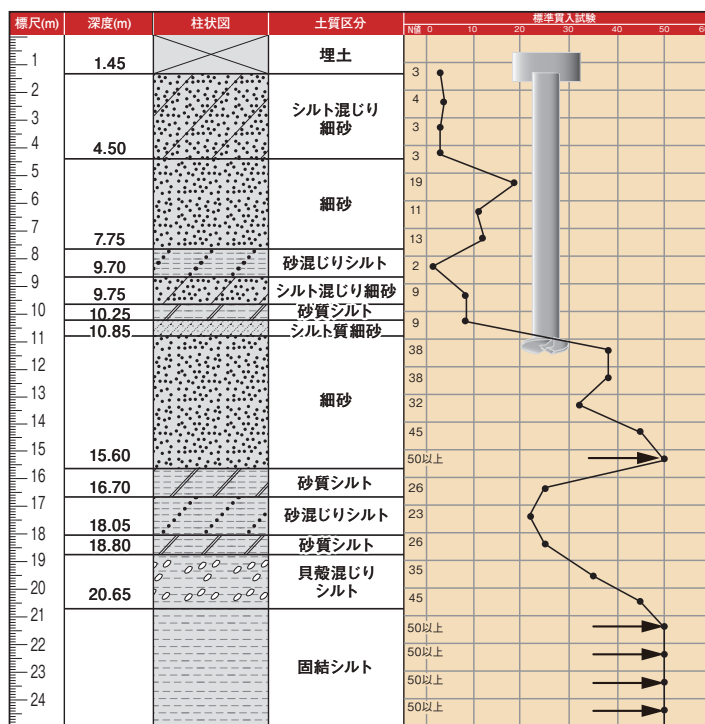
☆ご採用いただきまして、誠に有り難うございました。



工事概要

工事名	化学品工場 配管ラック基礎工事	杭 径	φ216.3、190.7mm、165.2mm
施工地	横浜市鶴見区	拡翼径	Dw 450mm、570mm、400mm
用 途	配管ラック	拡頭径	-
構 造	鉄骨造	深 度	SGL -10.80m、11.30m
延床面積	-	支持力	178kN/本、315kN/本、165kN/本
工 期	2025年7月18日～2025年7月23日	本 数	8本、2本、2本

ボーリング柱状図



e-pile next

国土交通省大臣認定工法



全ての鍵は杭先端にあり

公共土木・公共建築での活用拡大 国土交通省「NETIS」

登録番号: KT-160071-A

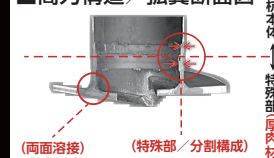
・国土交通省大臣認定
TACP-0641 砂質地盤(硬質地盤含む)
TACP-0642 粘土質地盤
・日本建築センター 基礎認定(引抜支持力)
BCJ 評定-FD0540-02
砂質地盤、硬質地盤、粘土質地盤
・日本環境協会
エコマーク認定 08 131022号

■ 全ての鍵は杭先端にあり

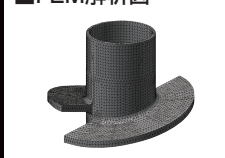
杭基礎は建物荷重を支持地盤へ伝達させる最も重要な役割であり、故に、杭先端拡翼部の貫入(掘削)性、変位・変形・破断などを発生させない高い性能が要求されます。

- 貫入性の問題を・・・「**変型穴**」により解決しました。
- 拡翼変形の問題を・・・「**特殊部**」により解決しました。
- コストの問題を・・・「**自社施工**」により解決しました。

■ 高力構造／拡翼断面図



■ FEM解析図



建築・土木・鉄道、さまざまな場面で活躍しております。

e-pile

検索

杭基礎の新たな可能性へ挑戦
Tobu 株式会社 東 部
https://e-pile.com

■ 本社
〒252-0134
神奈川県相模原市緑区下九沢1507-5
TEL.042-762-4739 FAX.042-762-8971
■ 本店／経理室
〒252-0134 神奈川県相模原市緑区下九沢1509-4
TEL.042-764-4128 FAX.042-762-9593

■ 東京営業所
〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷1-1-2
朝日生命幡ヶ谷ビル6階
TEL.03-3376-0123 FAX.03-3376-0124
■ 相模原機材センター
〒252-0101 神奈川県相模原市緑区町屋1-4-37
TEL.042-851-2681 FAX.042-851-2682





「100億企業創出シンポジウム」を開催されます

中小企業庁及び独立行政法人中小企業基盤整備機構は、売上高100億円という高い目標に向けて挑戦する経営者の皆様、これを支援する金融機関・支援機関を対象とした「100億企業創出シンポジウム」を開催します。本シンポジウムでは、様々な分野の第一線で活躍されている経営者や金融機関の皆様をお招きし、成長のエッセンスや内在する課題について議論を深めるとともに、100億政策に関する最新の政策動向や分析結果についてご報告します。加えて、第1回となる経営者ネットワーク(「100億宣言」)を開催します。

■開催日時	2025年10月7日(火曜) 13:30~18:00 (開場13:00)
■開催場所	イイノホール&カンファレンスセンター(東京都千代田区内幸町2-1-1 飯野ビルディング4階)
■プログラム	【第1部】(13:30~15:30) シンポジウム(※オンライン同時配信) 【第2部】(15:50~18:00) 経営者ネットワークおよび交流会(※非公開)
■申込開始	8月29日(金曜)
■申込締切	(定員)

詳しくは
100億企業
創出シンポジウム
HPをご確認ください



■第1部:シンポジウム
10月2日(木曜)または定員(450名(各社2名まで)【先着順】)まで ※オンライン配信は定員なし。
■第2部:経営者ネットワークおよび交流会
9月22日(月曜)または定員(100社)【先着順】まで※第2部は「100億宣言」企業の経営者のみ申込可能です。 ※会場参加の方のみ参加可能です。

ワンポイント 健康コラム

<<9月に留意すべき健康ポイント>>

まだまだ暑さは残っていますが9月は夏から秋へと移り変わる季節です。朝晩は涼しく、日中はまだ暑さが残るため、体調を崩しやすい時期でもあります。そこで、9月に気を付けたい健康管理のポイントを7つご紹介します。

■季節の変わり目による自律神経の乱れ

朝晩は涼しく日中は暑いなど寒暖差が大きく、自律神経が乱れやすい時期。規則正しい生活や深呼吸・軽いストレッチで整えることが大切です。

■夏の疲れの蓄積

夏バテの名残で消化器系が弱っている場合があります。脂っこい食事を避け、胃腸にやさしい旬の野菜や温かい汁物を取り入れると回復を促します。

■秋の花粉症

ブタクサ・ヨモギ・カナムゲラなど秋の花粉が飛び始めます。アレルギー体質の方はマスクや眼鏡で予防をし、症状が出る前に早めに対策を。

■感染症の流行

季節の変わり目は風邪やインフルエンザなどの感染症が増え始める時期です。うがい・手洗い・十分な睡眠を心がけましょう。

■食欲の秋による食べ過ぎ

食欲が増しやすい季節ですが、急な暴飲暴食は胃腸に負担をかけます。腹八分目を心がけ、旬の食材をバランス良く摂ることがポイントです。

■運動不足の解消

涼しくなり運動しやすい季節。夏の間に減った体力を回復するため、ウォーキングや軽いジョギングなどから始めると効果的です。

■日照時間の減少による気分の落ち込み

日が短くなることで気分が沈みやすくなります。朝の散歩で日光を浴びたり、趣味の時間を持つことでメンタルケアをしましょう。

ポイント!

経理マンが行く

野生動物!

<野生動物、なぜ人里や市街地へ?>

こんにちは。管理部経理課の鈴木 航です。
最近、野生動物が人里や市街地に出没する、という報道が相次いでいます。
実は、弊社の前を片腕の猿が歩いていて、という近隣の方からのお話を聞いて驚いたのは記憶に新しいものでございます。今回は、野生動物がなぜ人里や市街地に出没するのか、遭遇した際の対処法について触れてまいります。



【野生動物、なぜ人里や市街地へ?】

地球温暖化や環境破壊によって山での生活が困難になった、里山の管理不足によって人間の生活域との境界が不明瞭になったなど、様々な理由が挙げられますが、現在、社会問題として取り上げられるのは野生動物への餌付けや、餌となるような物をポイ捨てすることによって、人間が食べる物の味を覚えてしまった、ということです。

人間の食べ物の味を覚えた野生動物は、「人間に近づけば餌がもらえる」と理解し、市街地や人里に出没するようになり、餌への執着心によって次第にその行動は「人間を襲って食べ物を奪う」という行動にエスカレートします。

【野生動物に遭遇した際の対処法】

今回は、特に出没が警戒されている熊と猿に関する対処法について触れてまいります。

・熊の対処法

■遠くにいる場合:落ち着いて静かにその場から離れましょう。
■近くにいる場合:熊は逃走する者を追いかける習性があるため、背中を見せて走り出す行動は危険です。熊は時速60kmで走ることができます。熊の方を見ながらゆっくり後退する、静かに語りかけながら後退する、など落ち着いて距離をとるようにしてください。

■至近距離の場合:攻撃を回避する完全な対処法はありません。顔面や頭部を両腕で覆う、うつ伏せになる、など致命傷を防ぐ行動をとってください。熊撃退スプレーを携帯している場合は、熊に向かって噴射することで攻撃を回避できる可能性が高くなります。

・猿の対処法

猿と遭遇した際には、「近づかない」「刺激しない」「目を合わせない」「エサをあげない」

行動とともにその場から離れることが大切です。また、人間を敵としてではなく仲間としてコミュニケーションをとうろうとする場合もありますが、そのコミュニケーションには「ケンカ」も含まれます。可愛い仕草をしても近づかないようにしてください。

山や川などでのゴミの不始末や餌付けが、深刻な生活・人身被害につながることを自覚し、自身の行動が自然環境と人間社会にどのような影響を及ぼすのか、注意して行動することが大切なかもしれません。

